

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	事業名	2. 総合計画策定	
項	1. 総務管理費	細事業名		
目	9. 企画費	担当課・係	企画政策課	(執行課: 企画政策課)

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	7,486	要 求									7,486
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	まちづくりの推進に向けて / 成果と効率性を重視した行財政運営の推進 / 佐倉市のまちづくりの方向性を示す第4次										
	【総合計画の策定に関する業務】	施策体系コード	06-01-01-10-30			事業番号	61-1						
	市のまちづくりの方向性を示す基本構想、構想を実現するための各種施策を位置づける基本計画、及びそれを具体的に実現するための事業を位置づける実施計画について、担当所属と調整し、それぞれの計画に盛り込む施策・事業の取りまとめを行います。	総事業費	20,950千円			事業期間	平成20年度～平成22年度						
		年度別事業費	20年度	21年度	22年度								
			8,750	4,700	7,500								
		(事業実施に関する根拠法令) 地方自治法第2条第4項											

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 市政の最上位計画である佐倉市総合計画の次期計画「第4次佐倉市総合計画」(計画期間:平成23～32年度)について、佐倉市総合計画審議会、及び総合計画策定本部での議論等を基に策定する。また、計画書の印刷を行う。	(事業の目的) 計画的な行財政運営を進めるため、今後10年間の佐倉市のまちづくりの方向性を示す『第4次佐倉市総合計画』を策定する。また、計画の内容を広く周知するため、計画書の印刷を行う。	(事業の効果) 総合計画に関する議論は、非常に広い分野にわたる多様な議論となることが予想されるため、その取りまとめ作業を委託することにより、総合計画策定事務を効率化することができる。また、計画書のデザインを含む印刷製本事務を委託し、読みやすくわかりやすい計画書を作成することで、計画の内容を効果的に啓発することができる。
(事業実施上の問題点) 平成21年度から各種懇談会、市民意識調査、市民意見募集など、より市民の声を反映するための基礎調査を重ねている。10年先の市の将来に生かす内容とするため、市民意見の集約や、総合計画へのその取り込み方を慎重に定めるため、事務量が膨大となっている。	(前年度からの見直し点) 平成23年度からの実施に向け、策定の最終年度となる。策定に際し、専門家を含む審議会へ諮問するため、報償費が必要となる。その他、計画書を印刷し、頒布する。	(見積についての特記事項) 総合計画策定委託料、総合計画策定審議会の謝礼金(旅費相当額含む)、および印刷製本費。